

平成30年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理モデル事業 (愛知県海部地区環境事務組合)

構成自治体の**地域別・種類別の災害廃棄物発生量、処理可能量等を推計**
 収集運搬等の**実用的観点**を考慮した**仮置場候補及び最終処分場候補の検討**

災害廃棄物処理計画を策定するにあたっての本地域の課題

平時より、津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村では海部地区環境事務組合により処理を行っているため、大量に発生する災害廃棄物等に対して相互連携して処理する必要がある。
 海部地区は、地盤が脆弱であり、大部分がゼロメートル地帯であることから地震や風水害の災害リスクが高いため、仮置場及び最終処分場は、災害廃棄物発生量や被災状況等を考慮し、複数の候補から好条件の仮置場を選定する必要がある。

モデル事業の概要

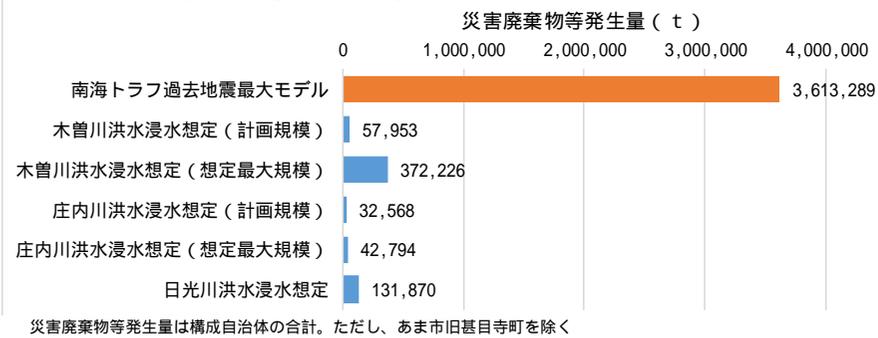
1. 災害廃棄物の発生量、処理可能量及び発生場所の予測・推計

対象とする災害の設定

- 想定する地震は県計画との整合性を考慮し、南海トラフ過去地震最大モデルを設定
- 想定する風水害は、海部地域に大きな影響を及ぼすと考えられる木曾川、庄内川、日光川の洪水浸水を設定

災害廃棄物発生量の推計

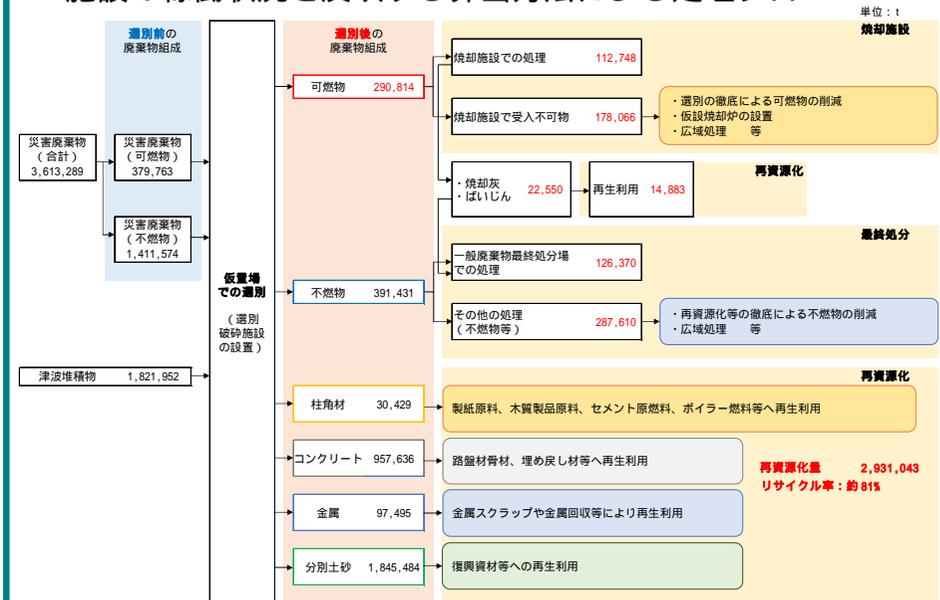
- 地震による災害廃棄物発生量は、県計画の推計結果を踏まえ、構成自治体の大字ごとに推計
- 風水害による水害廃棄物発生量は、洪水の浸水範囲及び浸水深により、建物の床上浸水、床下浸水を判定し、構成自治体の大字ごとに推計



処理可能量の推計【南海トラフ過去地震最大モデル】

- 処理可能量は、稼働年数や処理能力 (公称能力) 等を考慮した「災害廃棄物対策指針の算出方法」と「施設の稼働状況を反映する算出方法 (最大利用方式) の2パターン算出
- 広域処理等の検討が必要な量は、焼却施設で178,066トン 最終処分場で287,610トンと推計
- リサイクルが必要な量は、2,931,043トンと推計

施設の稼働状況を反映する算出方法による処理フロー

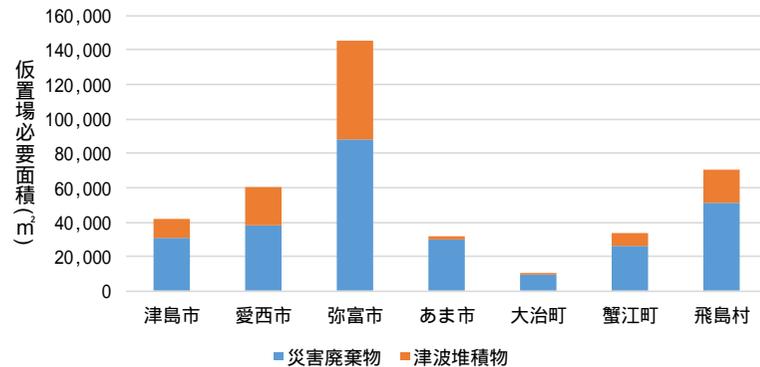


2. 仮置場及び最終処分場候補の検討

仮置場必要面積の推計【南海トラフ過去地震最大モデル】

- ・災害廃棄物の保管と作業スペースを見込む県計画の方法により、仮置場必要面積を推計
- ・全体で約393,000m²の仮置場が必要と推計

構成市町村別の仮置場必要面積



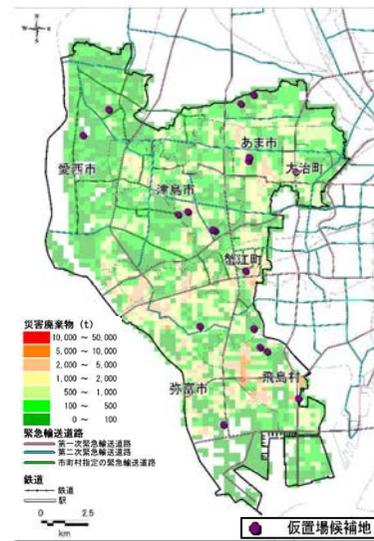
津波堆積物の積み上げ高さを10mとした場合。
あま市は、旧基目寺町を除く。

仮置場候補地の検討

- ・ハザードの情報や、他の用途の有無等、発災後の設置の判断基準となる評価項目を整理した候補地リストを作成
- ・候補地の位置はGISデータとして整理

評価項目例

候補地名及び住所
立地条件
面積
被災考慮 (震度、液状化危険度、津波浸水深) 等



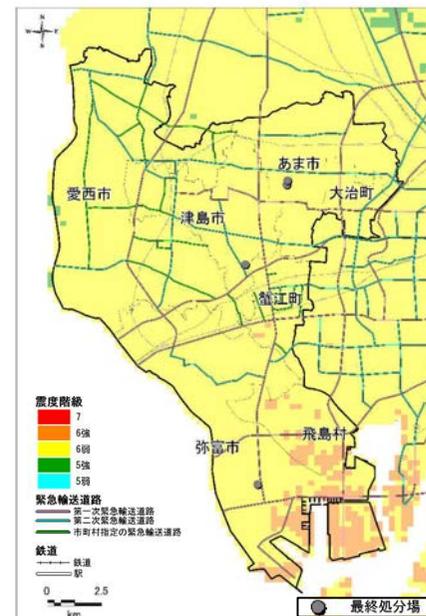
候補地と災害廃棄物発生量

最終処分場候補の検討

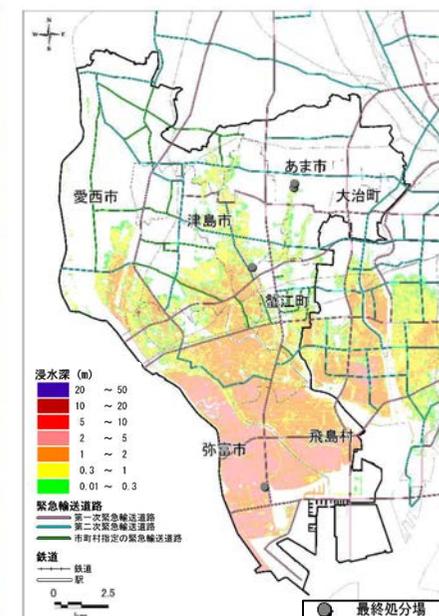
- ・被害想定の結果や緊急輸送道路の位置関係について、施設の立地状況と共に整理
- ・施設の位置を震度分布、液状化危険度、津波浸水深等と重ね合わせを行うことにより、災害時に使用可能性の高い施設を明確化

最終処分場における震度、液状化危険度、津波浸水深

施設名称	市町村	所在地	震度	液状化危険度	津波浸水深 (m)
津島市一般廃棄物最終処分場 (鹿伏兔)	津島市	愛知県津島市鹿伏兔町字袴腰32番地	6弱	極めて高い	0.01 ~ 0.3
弥富市鍋田最終処分場	弥富市	愛知県弥富市鍋田町八穂58番地	6弱	極めて高い	0
あま市七宝町安松一般廃棄物最終処分場	あま市	愛知県あま市七宝町安松五丁目1番地28	6弱	極めて高い	0
あま市篠田一般廃棄物最終処分場	あま市	愛知県あま市篠田森南19番	6弱	極めて高い	0



最終処分場と想定震度分布



最終処分場と想定浸水深分布